



サークル
紹介

mama 友 cafe

はじめのいっぽ



ママの癒しの時間、親子で楽しめる時間を、みんなで一緒につくり、過ごしていこうと、児童館のスタッフや子育て仲間の助けも借りて、2012年4月に立ち上げたサークルです。伊予市児童センターみんくるで、バザーやワークショップなど、親子で楽しめるイベントを開催してきました。

2014年からは、商店街に「郡中まち元気サロン 来良夢(こらむ)」がオープンしたことをきっかけに、来良夢で「おやこひろば」を開催しています。そこで、アクセサリやフェイクフードの小物をつくるワークショップ、駄菓子の販売、ハロウィンやクリスマスのパーティーなどを行いました。来良夢は、明治44年に建てられた元銀行の建物で、洋風の装飾や大きな金庫がある落ち着いた雰囲気も魅力的ですが、坪庭の奥には和室があり、どこか懐かしさを感じさせるところも、皆さんがくつろげる要因のようです。遊んでいる子どもたちに目を配りつつ、ママさんたちがお茶を飲みながらお話ができるちょうどよい距離感というのも良いようです。

また、商店街の賑わいのために開催されている伊予市100円商店街にも協力。毎回、焼き菓子やアクセサリなどの雑貨を来良夢で販売し、子どもやママさんに喜んでいただいています。普段は人通りが少なくなってしまった商店街が少しでも楽しくなれば、と出店を続けていますが、親子連れで商店街を歩く姿が見ることができるようになったのは、いいなと思いました。

子育てや仕事など、多忙で頑張りすぎて、さまざまな悩みを抱えるママさんたち。誰かと少し話をしてみたり、ちょっと気分転換をすることで、心が軽くなることも。また、明日から頑張ろうかなと思えば、それは、きっと子どもたちの笑顔にもつながります。笑顔がこのまちに溢れることを願って活動を続けています。

不定期開催の「おやこひろば」ですが、無理なく、できる範囲で、楽しく回を重ねていますので、お気軽にお越しください。活動を一緒に支えてくださる方も歓迎です。

■ イベント等の情報は、ブログやフェイスブックページで発信中
<http://ameblo.jp/usagi-mamechan/>
<https://www.facebook.com/Mama友cafeはじめのいっぽ-347547528746116/>



2016年3月発行
発行：伊予市家庭教育・
子育てサポートグループ

第18号

ほのぼの



子育てがんばっています!

しっかり者のお兄ちゃんとちょっぴり甘えん坊の弟だけど、田植えや稲刈りはもちろん、おばあちゃんの畑を手伝ったり、お母さんと一緒にお料理をしたりと毎日元気に過ごしています。
そして、お父さんとお母さんはそんな子どもたちに元気をもらっています。これからも家族仲良くしていこうね。

祖母：恒子
父母：福田栄治、祥恵 子ども：^{まさし}匡志・^{ゆうすけ}有佑 (市場)

編集後記

伊予市家庭教育情報誌「ほのぼの」第18号が完成しましたのでお届けします。近年では、児童虐待や青少年の問題行動が深刻化しています。その背景には、都市化に伴う核家族化の増加や地縁的なつながりの希薄化などが指摘されています。家庭では三世代による子育て、地域では大人全体による子育てが難しくなっています。このため子育てがわからないといった悩みを抱えておられるご家庭も多いようです。このような時代だからこそ親が集まる機会を捉え、親が親として自分を見つめ直し、子育てや家庭教育について支援することが大切であると思っています。伊予市では数年前から家庭教育・子育てサポートグループを立ち上げ、幼稚園や保育所、小学校、公民館などと連携し、微力ではありますが学習会や情報の提供、悩み相談などを行ってきました。これからも皆様と共に大切な子育て・家庭教育の課題に向き合っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

個別の相談や少人数グループの話し合いを希望される方は下記までご連絡ください。

連絡先

伊予市家庭教育・子育てサポートグループ
☎ 982-5155 FAX.982-5156
〒799-3113 伊予市米湊768-2 (伊予市中央公民館内)

子育て真っ最中の
皆様の応援をします。

伊予市家庭教育・子育てサポートグループ

みどり保育所での 学習会

平成28年1月19日(火)

子育ての中で怒らない選択肢もあるはずなのに、気持ちにゆとりがあれば怒らない、ゆとりが無いから怒ってしまい、後で後悔する。同じ出来事でも考え方を換えれば、感情はコントロールでき結果も変わります。「怒らない」と決めませんか。

子どもの心情や感情、子どもの性格そのものまで、周りの人の言葉かけやまなざしできている。子どもへの言葉かけは温かく肯定的なものにしたい。また、子どもには体験、失敗させましょう。そこに学びがあり、これが生きる力につながります。

子どもの気持ちを聞いてあげましょう。すぐ切れたりやけになったりする子が多いが、何をすることも選択をして、理由があるはず。これを聞いてあげることが、考える機会になったり、自分の行動に責任を持ったりできることにつながるのではないのでしょうか。



わたしは、「ぐりとぐら」がおもしろいので、図書してみつけたら、かりて、いえでよみたいと思いました。

1ねん2くみ とよた かなみ

ぐりとぐらのごはんを食べているところがすごくおもしろかったので、図書してみつけたら、かりて、いえでよみたいと思いました。

2ねん1くみ つだ あおい

言葉サークルが一番楽しかったです。お話しはほくだけのこと。3兄弟が一番かっこよかったです。クラスの友達の中で、ほくだけのことを見つけたら、おもしろいです。わたし自分かっこよさを見つけたらいいなと思いました。

3ねん1くみ 木下 さほ

折り紙教室

平成27年6月16日(火)

中央公民館で、マミサポ会員の方の参加のもと、折り紙教室が開催されました。

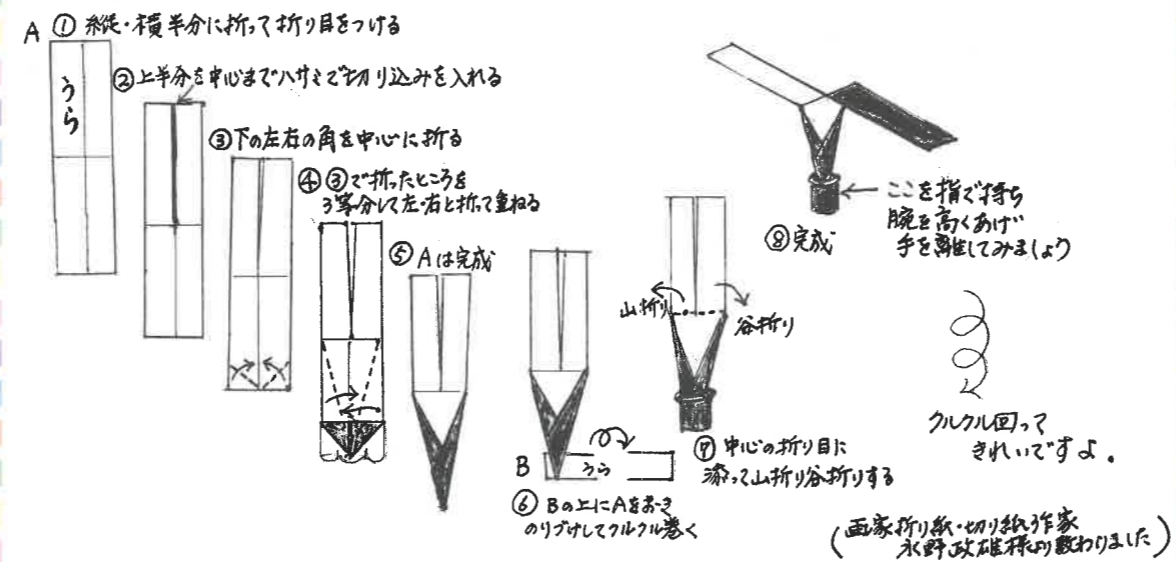
講師の小笠原はるみ先生の指導は、とても優しく丁寧で、みんな一生懸命に和気あいあいと取り組みました。

折り紙といえば、平面的なものを考えがちですが、一つの折り方で大きさの違うものを折り、ふくらませてくっつけるとかわいいピエロができます。先生が作られた見本のピエロをみると、やる気が出てきました。他にも、すぐできるくるくるタケ(カミ)コプターも作りました。



簡単に遊べるくるくるタケ(カミ)コプター (小笠原はるみ)

- 材料) ① 15cm x 3.75cm (15cm 正方形の1/4) 各1枚
② 15cm x 1.9cm (15cm 正方形の1/8) 各1枚



さつちゃんの 子育て相談日記

ツバメの子育てに学ぼう



書棚の整理をしていると、10年余り前の新聞の切り抜きが出てきました。日本野鳥の会の方が、鳥の世界の不思議と題して「ツバメの結婚生活」を採り上げていました。「電線でさえずっているツバメは雄、一生懸命に結婚相手になってくれる雌を呼んでいる。雌はさえずり以外に尾羽の長さを見て相手を選ぶ。ヒナが生まれると、雄も雌も同じくらいの割合でえさを運んで来なければならない。雌にもてる、長い尾羽の雄はえさとなる昆虫を捕まえるとき、長い尾羽が邪魔になり苦労する。たくさんの虫を捕まえることができなければ、ヒナを育て上げることは難しくなり、離婚されてしまうかもしれない。子育てを成功させるために頑張った雄ツバメは次の年まで、その疲れが残ってしまう。」

不思議というよりも、何という美しい光景でしょう。

食べるということは、生きていく限り必要です。また、食べ物を与えるということは、存在そのものに対する承認であり、喜びでもあります。

今、子どもの食行動が問題になって来ています。少食・食欲不振、拒食、過食、異食など。背景は個々にあって複雑ですが、過食について、ただ、ごく稀に、愛情不足や虐待環境にいる子どもがすごい過食をすることがあることを聞いています。

共働きだった私たちは、子どもの食事について、母に頼り切っていました。ツバメに学ばなければなりません。幸いなことに子どもは育ちました。拒食も過食の問題もありませんでした。夫婦別れをすることもありませんでした。感謝です。しかし、母は何年後までも、その疲れが残っていたと思います。

(実例のある程度変更および抽象化しています。)

子育て相談室 ☎ 982-2602 (伊予市教育委員会 社会教育課内)
相談内容についての秘密は厳守します。

北山崎小学校 PTA 図書部

子どもたちと、わいわい元気に楽しみました。

10月2日(金)・1月22日(金)



『なぞなぞのみせ』



『ぐりとぐらとすみれちゃん』



『七ひきのねずみ』



郡中地区公民館 家庭教育学級

「子育て・家庭教育について考えよう」座談会開催。

平成28年1月14日(木)

- 下吾川愛護班の保護者 15 名が
- 子育てで楽しかったこと
 - 家庭で気をつけたいこと
 - 子育てでつらかったこと
 - つらかったことを乗り越えたこと
- などについてなごやかに話し合いました。
- 小学校低学年から高校生のお子さんをお持ちのお母さん方、子どもの成長に従って、親と子がしっかり向き合い、親子共に伸びていくことを確かめました。

